

グリーンツーリズム

●棚田整備の経緯

江戸時代から先祖が苦勞して少しずつ切り開いてきた棚田が担い手の高齢等により荒地になっていたため、「農業を愛する人と一緒にもう一度美しい棚田を復活させたい」という思いで有志が集まり、美味しいお米を自分たちの手で作ってもらいながら、荒れた農地を復活させるため、安心で安全なお米作りのオーナー制度で行っています。



平成14年当時（まだ水田は少なくて葎がしげっている）

●棚田の四季



◆早春、元肥を入れ、あぜを作り、土手を補強し（3月）代掻きをして、田植えの準備（5月上～中旬）



◆晩春、ウグイスの声を聞きながら田植え（5月下旬～）



◆田植えが終わり、一面緑の棚田（6月下旬）

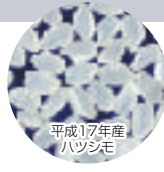
◆食害対策の電気柵設置（猿、鹿、猪対策6月下旬）

◆初夏、蝉の合唱を聞きながら、田の草取り（7～8月）

◆初秋、収穫。稲穂がこうべをたれる頃（9月下旬）

●棚田のお米

棚田の稲作は、「疎植」、「晩植え」、「無農薬栽培」、「ハサ掛け天日干し」等の特徴があります。土は柔らかい粘土質土壌です。水源は山の上から井戸水を引き入れています。棚田で採れた新米は未だ収量は少ないですが、粒張りがよく透きとおっていて、香りたち食味がよいと評判です。



平成17年産ハツジモ

●イベント行事

【炊き込みご飯】田植えと稲刈りの日は、炊き込みご飯、豚汁、とろろ汁等で楽しい慰労会をします。

【お餅つき】年末には、棚田でとれたもち米で正月のお餅つきをします。

【お酒作り】棚田でとれた酒米で、大寒のころ、酒造会社で純米酒を造っています。洗米、酵母の仕込み、びん詰め、ラベル貼りはオーナー達の楽しい作業です。

3月中旬には香り豊かな地酒「白瀧鈴麗」が出来上がります。

●レンコン・マコモ・そば

湿田では、レンコンやマコモを栽培し、開墾直後のやせ地はそば畑にしています。



レンコン



マコモ田



そば畑

●いろいろ小屋

休憩用のいろいろ小屋や農作業用の小屋等を廃材利用で建てました。いろいろ小屋から見た棚田は、大変良い眺めです。



オーナー体験の声

- 1年を通して環境に恵まれ、いろんな小動物のいるところで自然と上手につき合える棚田です。
- 安全で食味豊かな棚田米を半ば自給でき満足感を得ている。
- 思い出の一杯詰まった憩いの場所で、多少疲れていても棚田で汗を流すことで元気が湧いてくる。
- 自然農法で自然を守り、楽しいイベントをおり込みながら老若男女が来られる棚田にしたい。
- 棚田で農業していると、季節や自然とともに、おこらずに生きていける。



棚田オーナー募集

《応募資格》棚田復元に協力していただける方。お米づくりを体験してみたい方。個人、家族、団体を問いません。

《内容》美味しいお米作りの農業体験をします（自主管理が基本、作業予定は別紙）。共同田で作付けして頂き、収穫したお米はみなさんでお持ち帰り頂きます。基本は無農薬栽培です。有機肥料の施肥、農薬等必要な場合みなさんと相談して使用します。ただし諸経費は負担願います。

《作業日時》基本的に土曜日、日曜日 9:00～15:00（雨天中止）

募集会員・年間会費・申し込み方法については、下記までお問い合わせください。

◆申し込み先

〒511-0401 いなべ市北勢町川原1891
棚田保存会代表 浅山武史

◆問い合わせ先

藤原庁舎 農林水産課
☎46-6306

いなべ市情報誌「Link」

発行と編集 Vol.28

平成18年3月1日発行
いなべ市役所 企画部 広聴広報課
〒511-0293
三重県いなべ市員弁町笠田新田111番地
☎0594-74-5819 FAX 0594-74-5822
<http://www.city.inabe.mie.jp>

いなベいきいきマイタウン

少林寺拳法の拳士たち大活躍！



2005年10月30日、伊勢市のサンアリーナで「みえスポーツフェスティバル少林寺拳法三重県大会」が開催されました。いなべ市から52人の拳士が出場し、子どもたちの頑張りで素晴らしい大会となりました。

- 最優秀賞（優勝）幼少1～2級の部
安田真紀人（山郷小6年）、安田理紀人（山郷小6年）
- 優秀賞（準優勝）幼少1～2級の部
二井有志（員弁西小5年）、二井政行（員弁西小4年）
- 優良賞（3位）
一般女子有段の部 矢野 瞳（津田学園高1年）
安田由香（北勢町）

みなさまの身近なできごとをお知らせください

読者のみなさまから投稿をお待ちしています。また、いなべ市内で撮影された写真についても併せて募集していますので、どんどんお寄せください。

※古紙配合率100%
再生紙を使用

